

5 - 2 東海・南関東地域の地震活動（1995年5月～10月）

Seismic Activity in the Tokai and Southern Kanto Districts (May-October, 1995)

気象庁地震予知情報課

Earthquake Prediction Information Division

Japan Meteorological Agency

第1図(a)～(f)は1995年5月～10月の東海・南関東地域における月別震央分布図，第2図(a)，(b)は1995年5月～7月と1995年8月～10月の3か月毎の震央分布図を示す。いずれも震源の深さが90km以浅の地震の震央を示してある。第3図は1995年5月～10月の主な地震の発震機構解である。

この期間，9月中旬から10月中旬にかけて伊豆半島東方沖で群発地震活動が起きたほか，10月には神津島付近でも群発地震活動があった。また，駿河湾内のM3クラスの地震活動が目立つ。（いずれも，本巻別項参照）

各月の活動状況は次の通り。

5月：三宅島近海で13日から24日までM4クラスの地震2個を含む群発的な活動があった。千葉県周辺では，2日と16日に九十九里沿岸付近，20日に東京湾浦賀水道付近で，それぞれM4クラスの地震があり，有感となった。

6月：19日から26日にかけて駿河湾内のトラフ軸付近でM3以上の地震が4個起きている。また，23日には静岡県中部でもM3.5の地震が起きている。

7月：三浦半島（3日，M5.6，深さ122km）でやや深発の地震，遠州灘（8日，M6.2，深さ395km）で深発の地震があった。

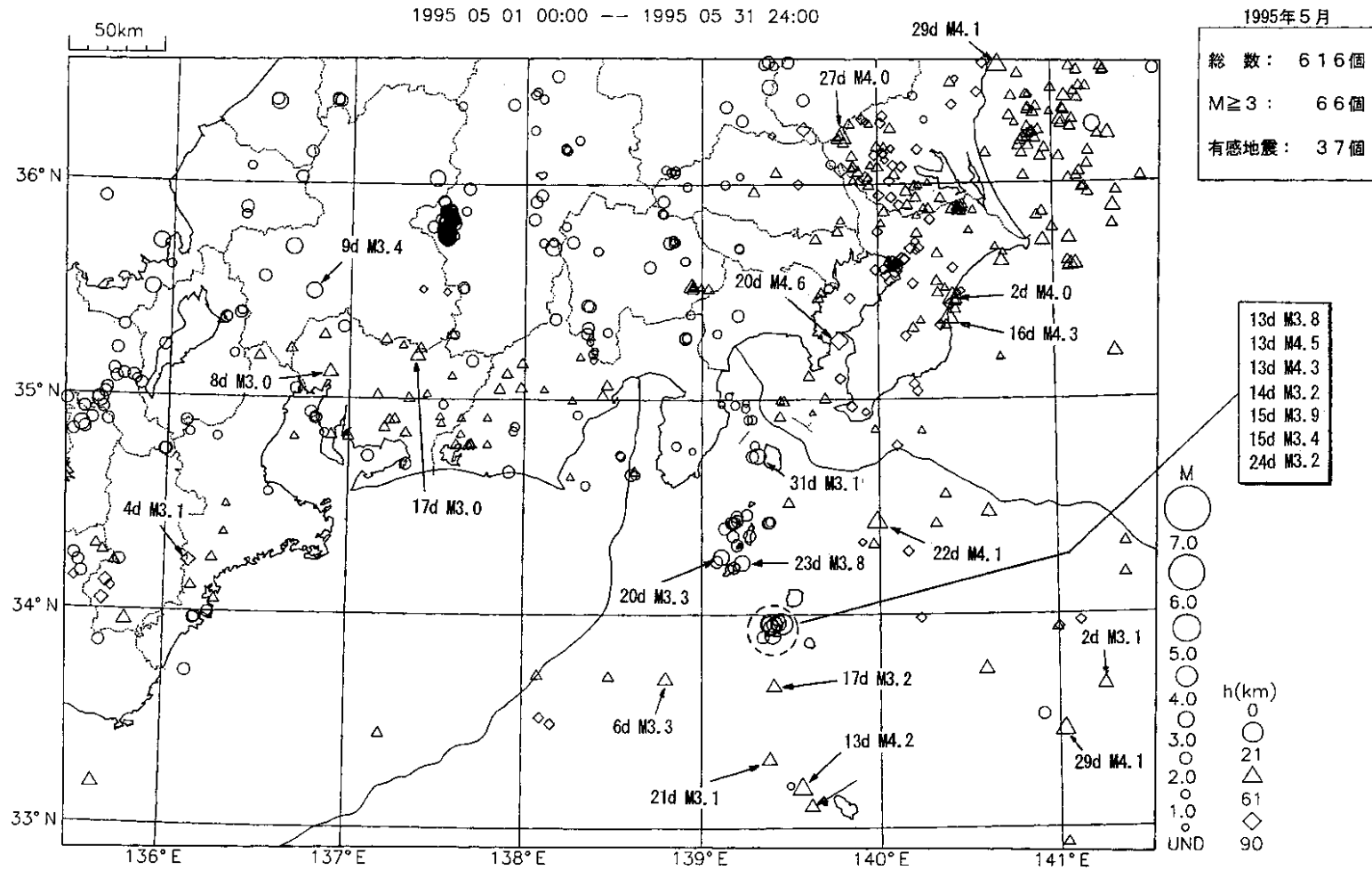
8月：岐阜・長野県境の乗鞍岳付近でM3クラスの地震が連続して起きた。茨城，埼玉の両県で，それぞれ4日と27日にM4クラスの地震が起きている。浜松の東でも30日にM4の地震が起き，浜松で震度2を観測した。

9月：11日頃から伊豆半島の伊東沖でM3未満の微小地震の群発活動が始まった。11日と18日に若干の活動のピークを示した後，29日からは有感地震を含む活発な活動になった。駿河湾内のトラフ軸付近でもM3クラスの地震が起きている。

10月：伊東沖の群発活動は引き続き活発で，1日にはM4.8の地震が発生した。6日には神津島近海でM5.6を最大とする群発地震活動が始まった。いずれも中旬には静穏化した（本巻別項参照）。一方，駿河湾では29日にM3クラスの地震が起きた。

駿河湾内の地震の発震機構は，第3図によれば，いずれも北東南西圧縮の横ずれ型である。震源の深さもおよそ15kmから30kmに分布しており，フィリピン解プレート内の地震とみられる。

東海・南関東地域の地震活動



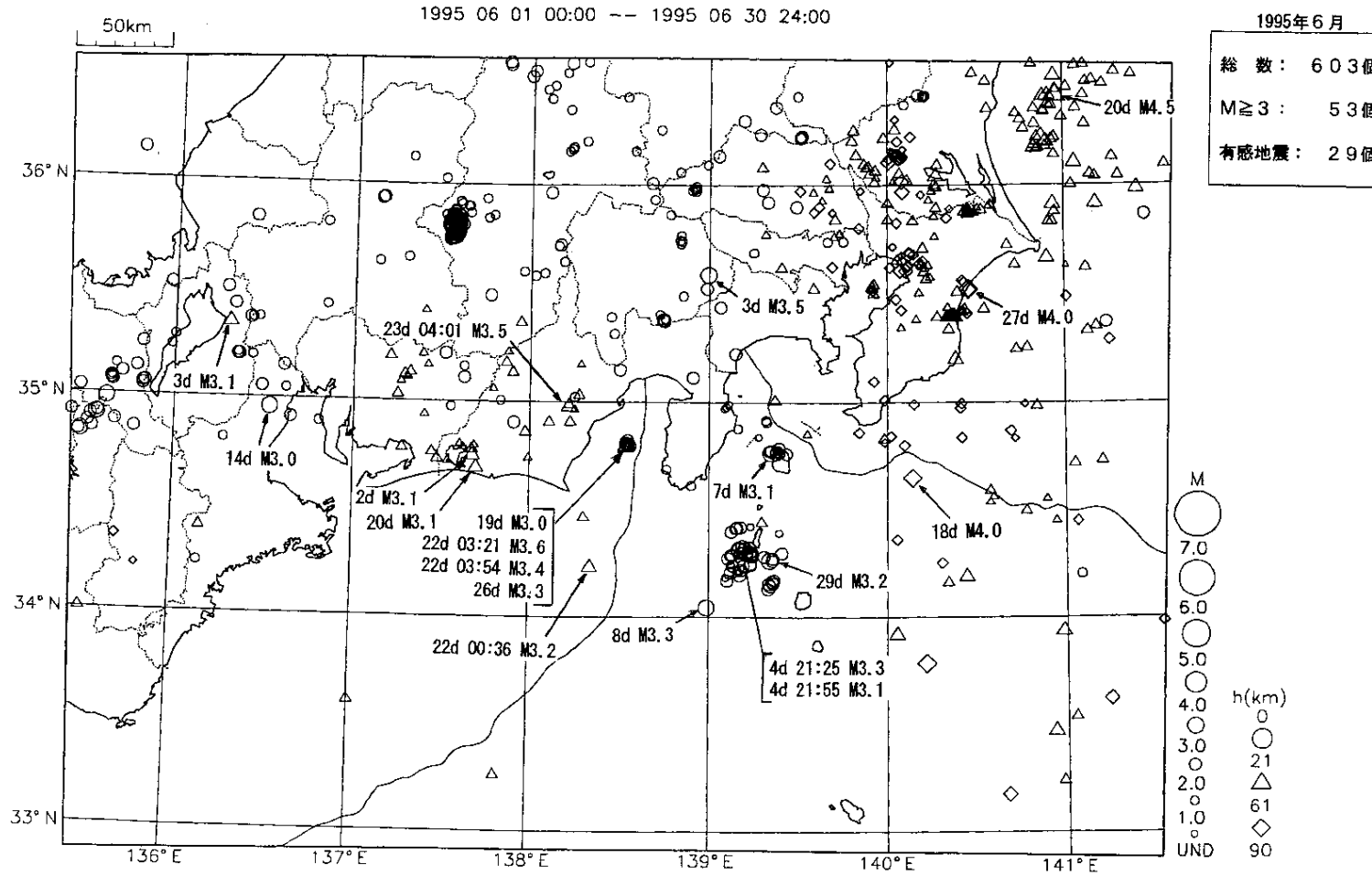
[暫定]

(気象庁, 東京大学, 名古屋大学, および防災科学技術研究所のデータを使用)

第1図(a)~(f) 東海・南関東地域に発生した地震の月別震央分布 (1995年5月~10月)

Fig. 1(a)-(f) Monthly earthquake epicenters in the Tokai and Southern Kanto Districts for May-October, 1995.

東海・南関東地域の地震活動



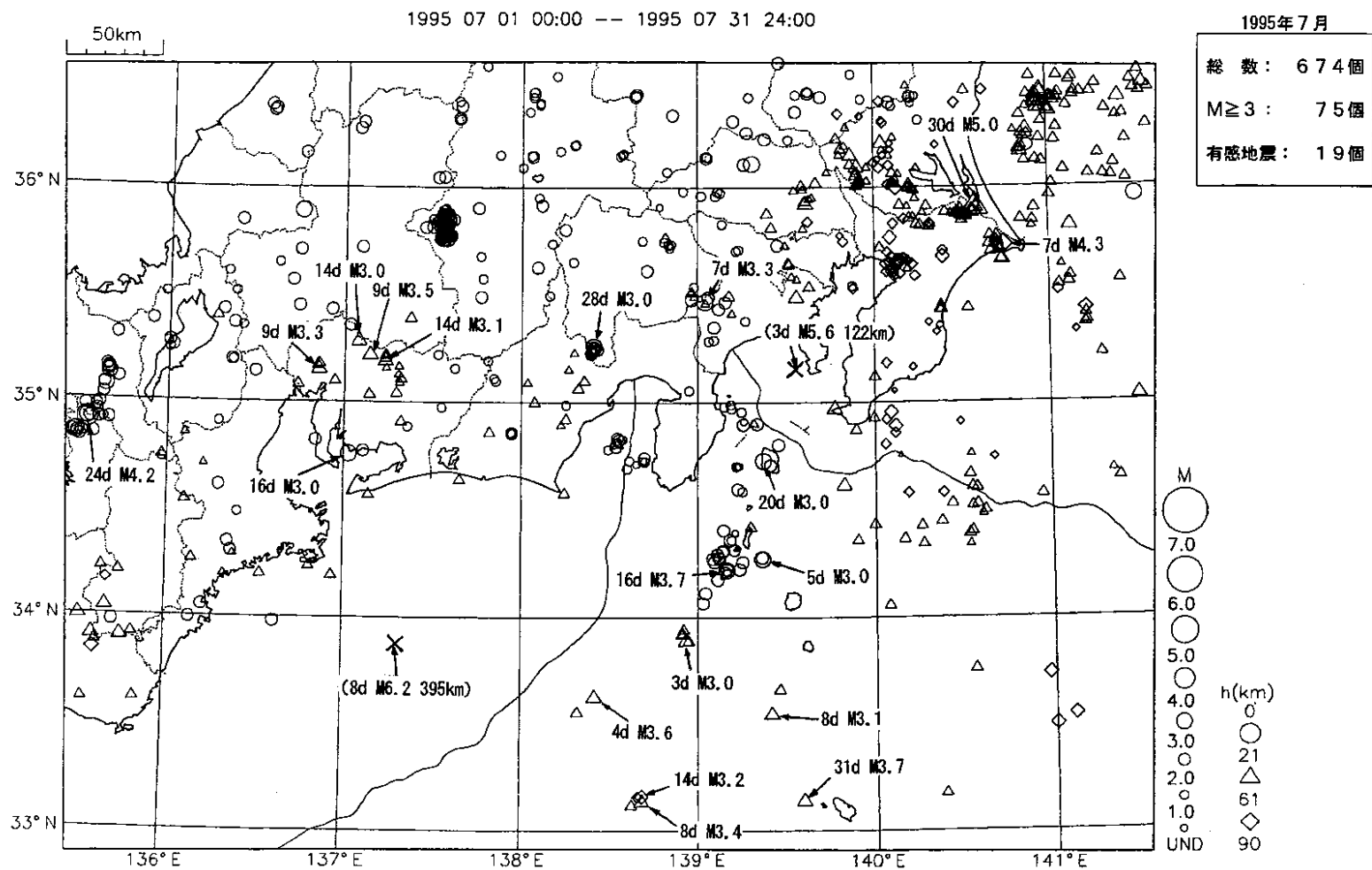
[暫定]

(気象庁, 東京大学, 名古屋大学, および防災科学技術研究所のデータを使用)

第1図 つづき

Fig. 1 (Continued)

東海・南関東地域の地震活動



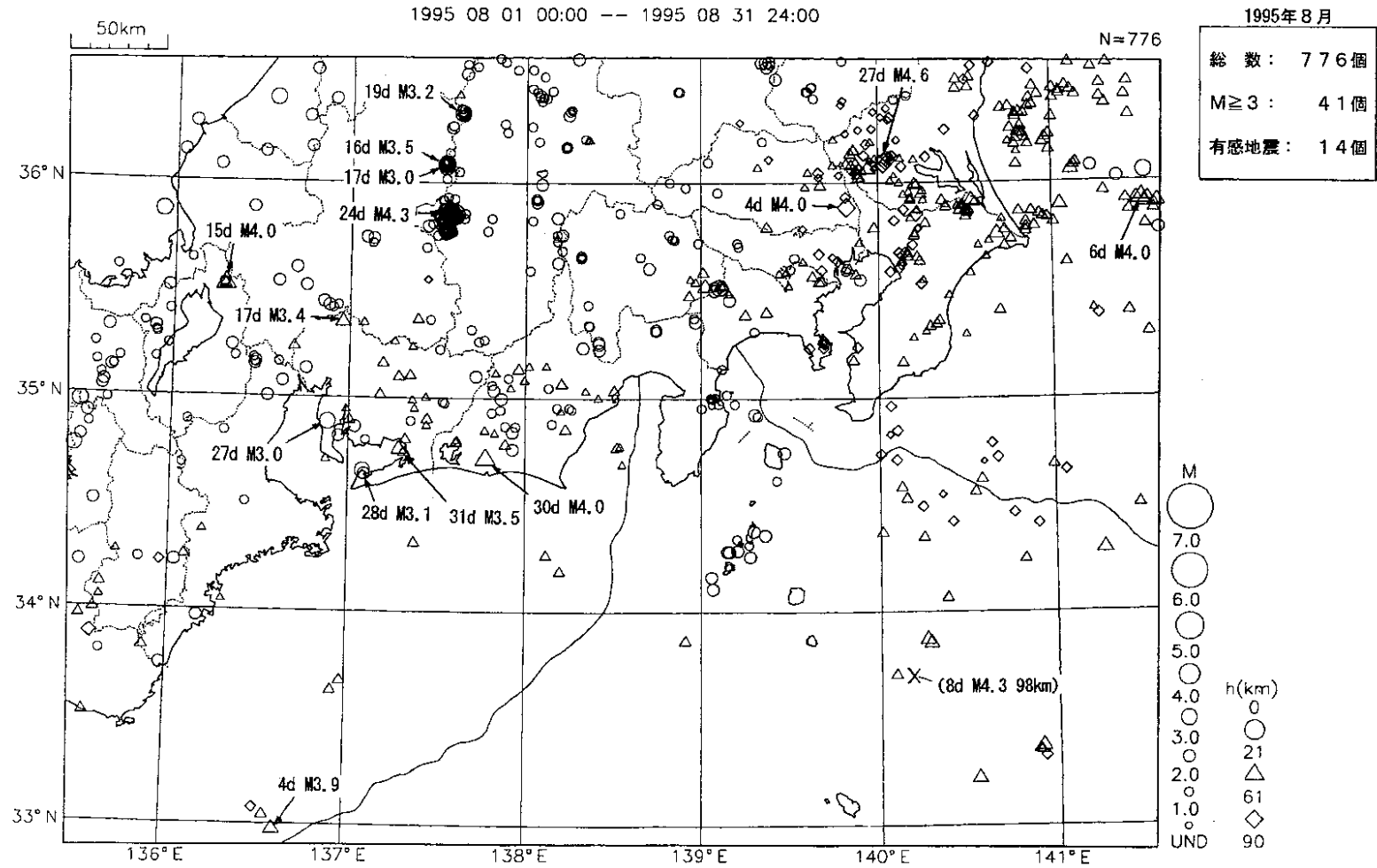
[暫定]

(気象庁, 東京大学, 名古屋大学, および防災科学技術研究所のデータを使用)

第1図 つづき

Fig. 1 (Continued)

東海・南関東地域の地震活動



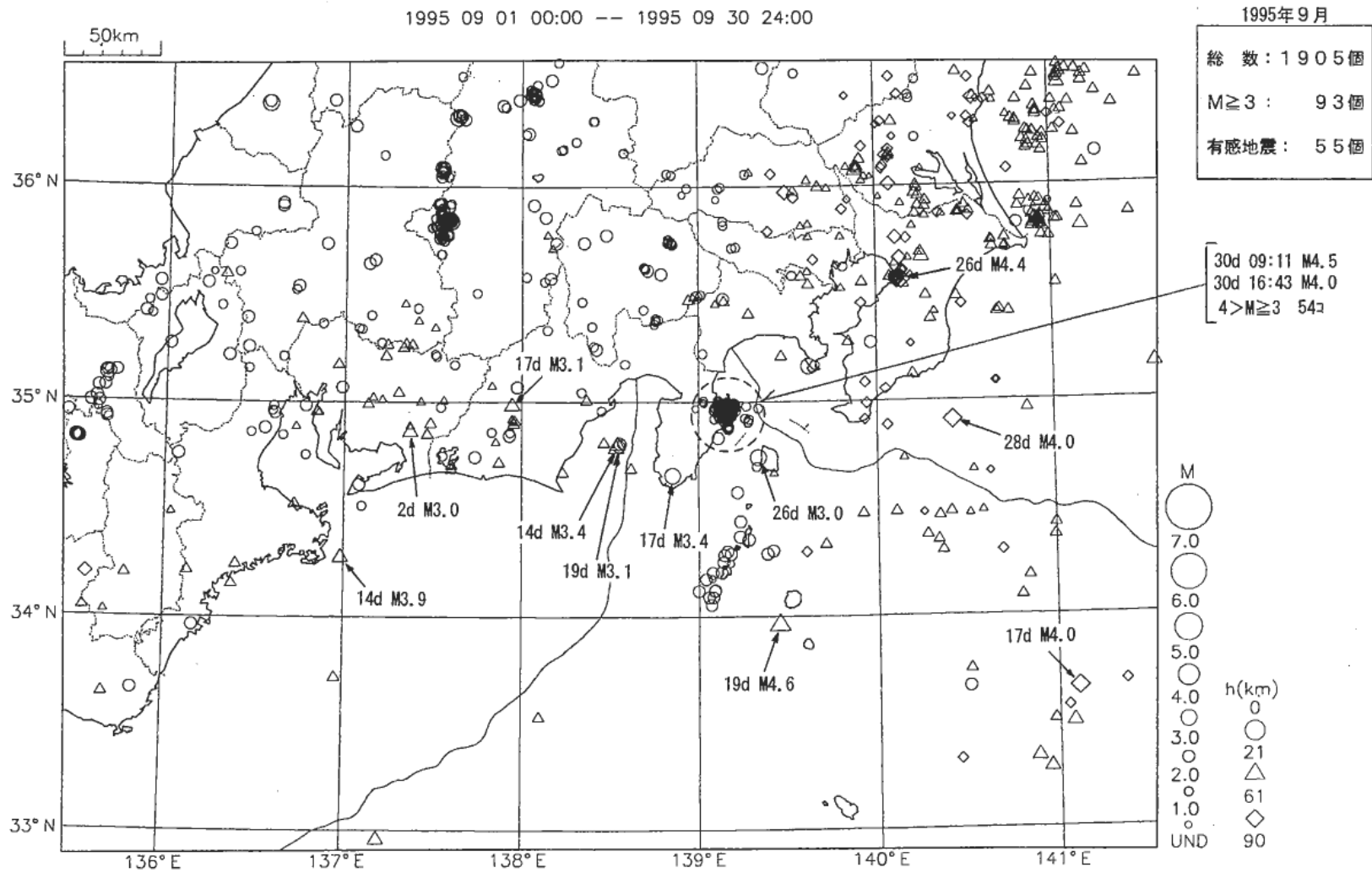
[暫定]

(気象庁, 東京大学, 名古屋大学, および防災科学技術研究所のデータを使用)

第1図 つづき

Fig. 1 (Continued)

東海・南関東地域の地震活動



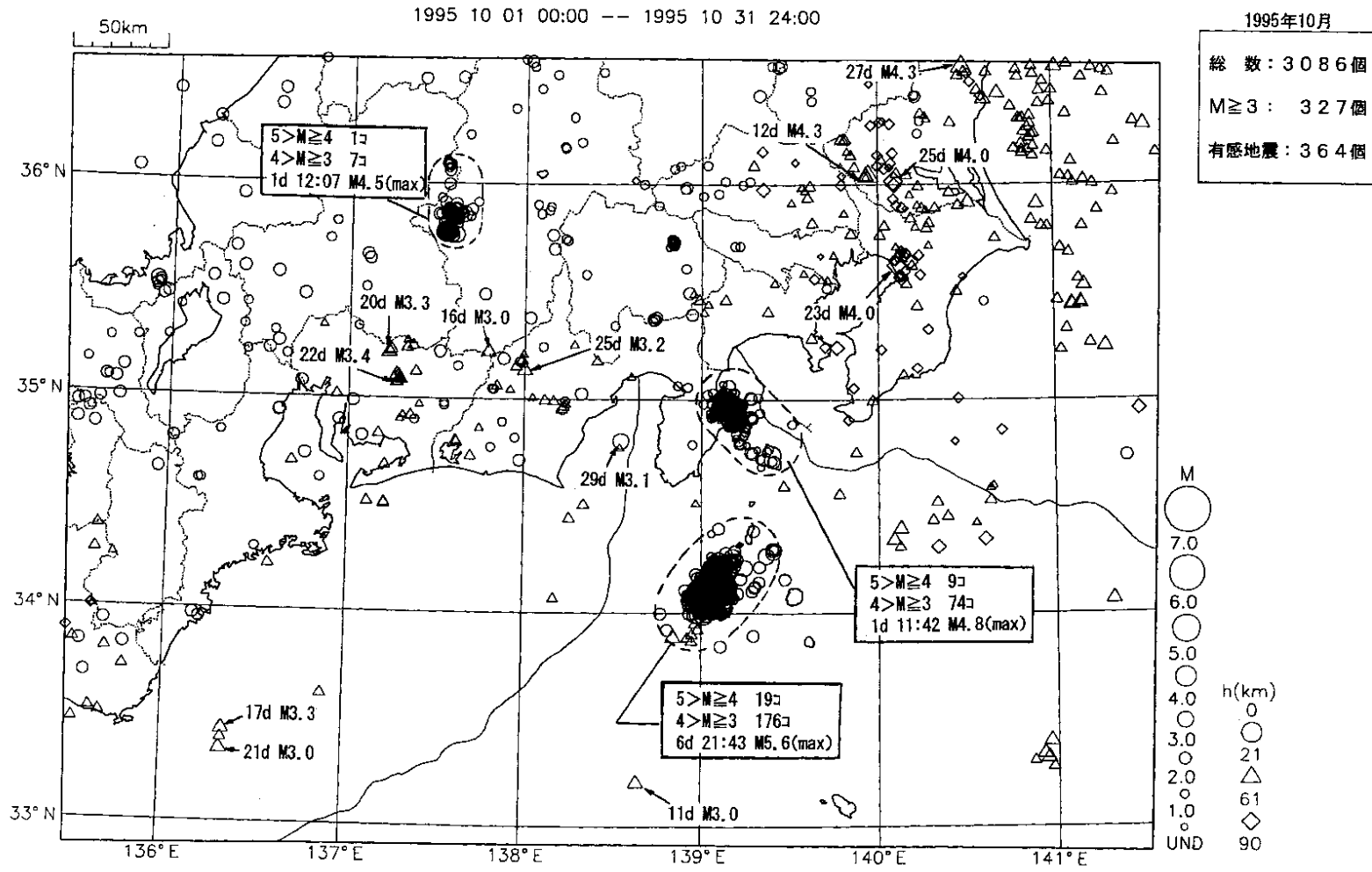
[暫定]

(気象庁, 東京大学, 名古屋大学, および防災科学技術研究所のデータを使用)

第1図 つづき

Fig. 1 (Continued)

東海・南関東地域の地震活動



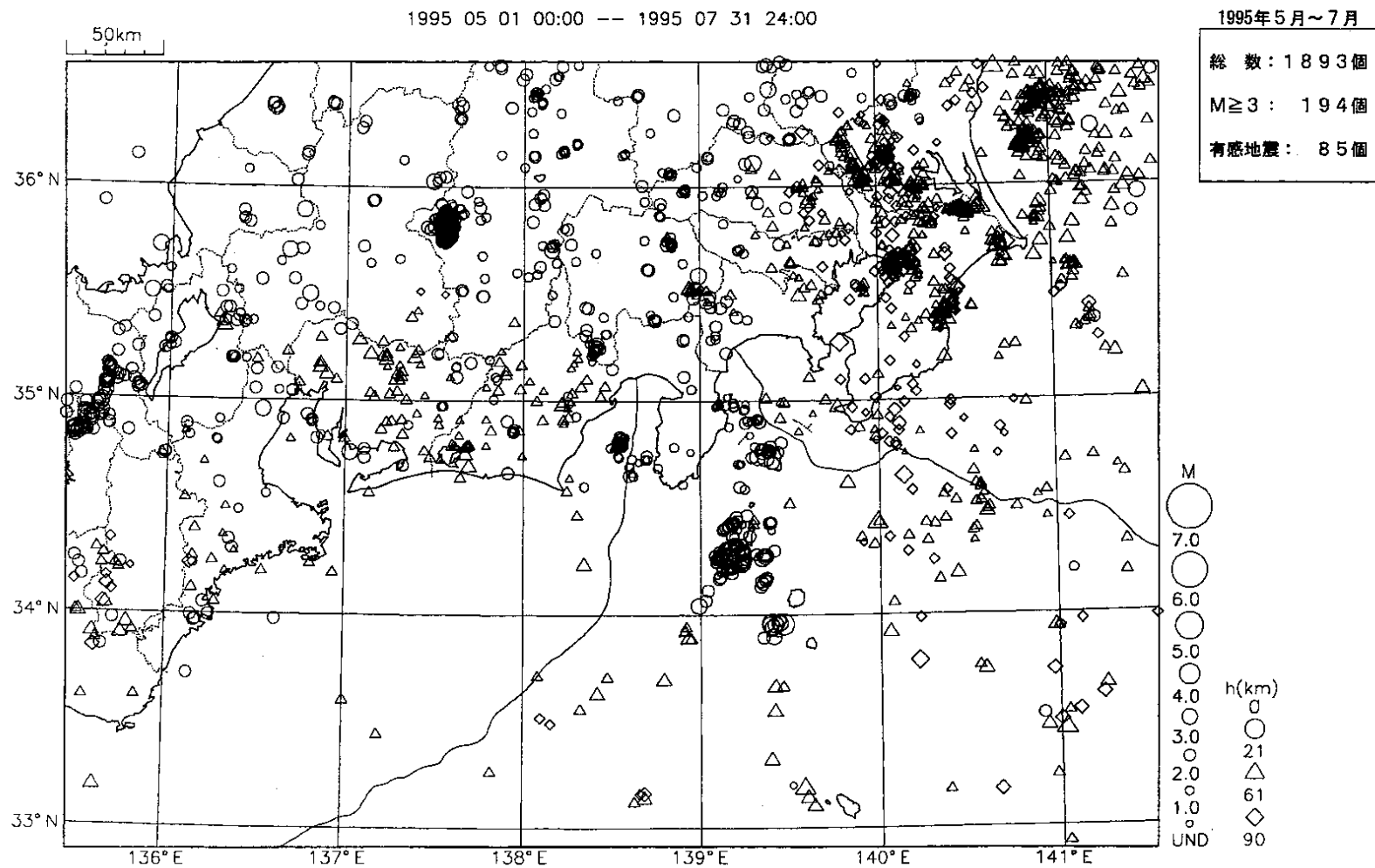
[暫定]

(気象庁, 東京大学, 名古屋大学, および防災科学技術研究所のデータを使用)

第1図 つづき

Fig. 1 (Continued)

東海・南関東地域の地震活動 (3か月間)



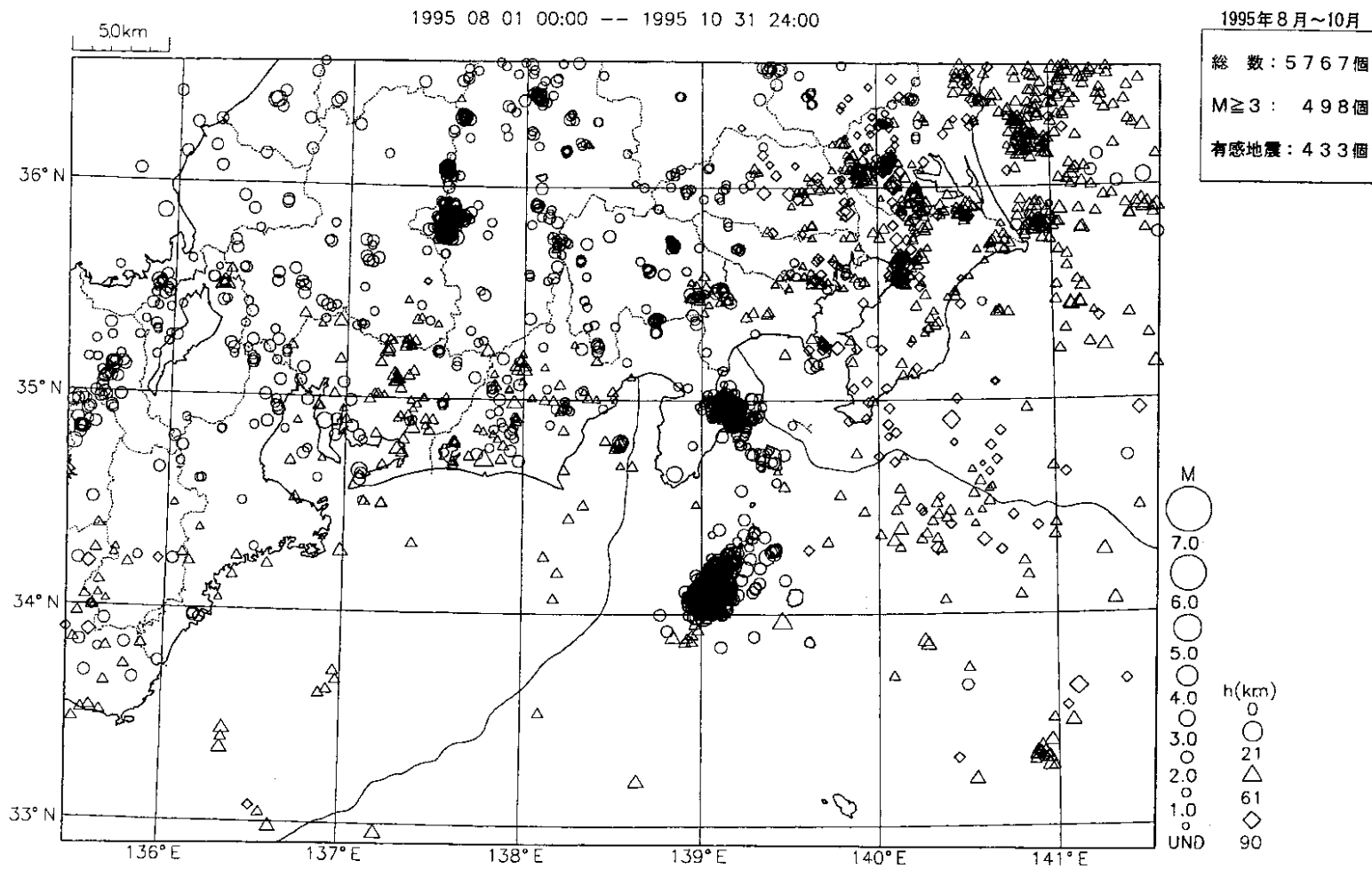
[暫定]

(気象庁, 東京大学, 名古屋大学, および防災科学技術研究所のデータを使用)

第2図 東海・南関東地域に発生した地震の3か月毎の震央分布 (a) 1995年5月~7月, (b) 1995年8月~10月

Fig. 2 Quarterly earthquake epicenters in the Tokai and Southern Kanto Districts for May-October, 1995.

東海・南関東地域の地震活動 (3か月間)

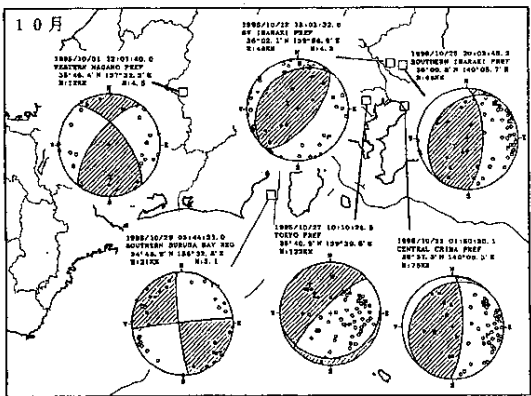
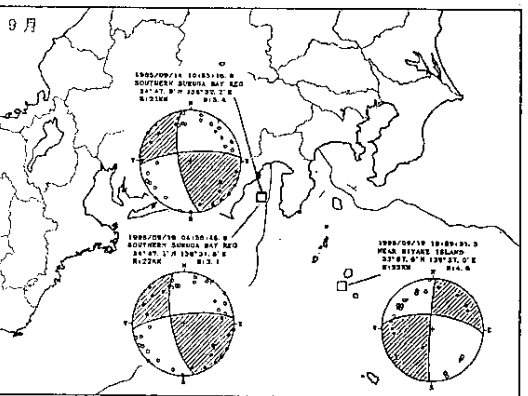
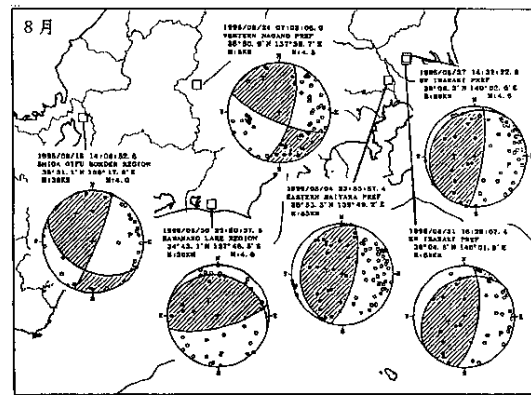
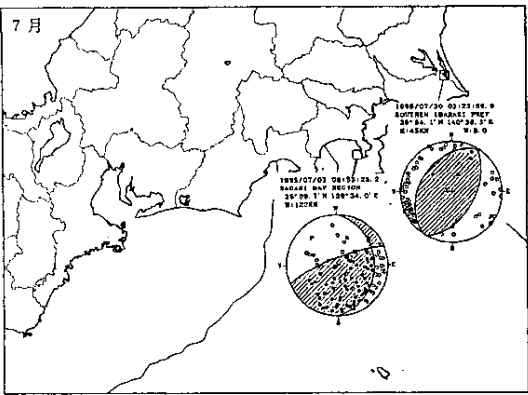
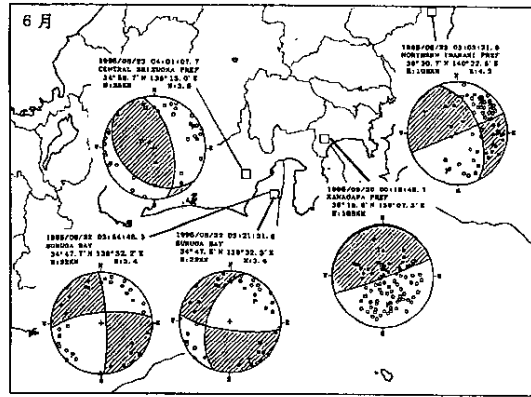
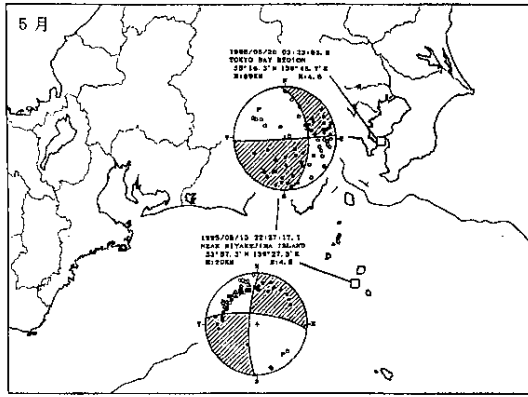


[暫定]

(気象庁, 東京大学, 名古屋大学, および防災科学技術研究所のデータを使用)

第2図 つづき

Fig. 2 (Continued)



(気象庁、東京大学、名古屋大学、防災科学技術研究所のデータを使用)

第3図 東海・南関東地域に発生した主な地震の発震機構解 (1995年5月~10月)

Fig. 3 Focal mechanism solutions of main earthquakes in the Tokai and Southern Kanto districts for May-October, 1995.